

高齢者自立支援センター ふる里

【高齢者自立支援センターふる里】とは…

介護認定を受けておられない方（総合事業対象者）と要支援1及び2の方を対象とした新事業の高齢者活動支援サービス事業(A型)を平成29年4月から始めました。名称は「高齢者自立支援センターふる里」といいます。

生涯、健康で安全・安心な自立した生活が送れるように支援していくことを目的とし、専門的な職員(自立支援プランナー)がサポートいたします。ご興味のある方は、いつでもどうぞ。ご連絡をお待ちしております

十月の行事予定

◆ふる里 10月行事 『ふる里ミニミニ運動会』
10月18日(火)・19日(水)・20日(木)

◆生け花教室 ～齊藤マサミ先生～ 8日(土)・27日(木)
◆書道教室 ～中村朱実先生～ 6日(木)・24日(月)
◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 28日(土)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ～中村壽美子先生～ 25日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後
(5日、12日、26日予定)

時雨月

～9月の趣味活動の作品～



書道教室



おし花教室



生け花教室

わがんせ・サックス・アンサンブル様



今月は『わがんせ・サックス・アンサンブル』様がふる里に來られ演奏して下さいました。メンバーは、福岡・長崎・東彼杵・大村という地域の幅が広い構成で今回6名訪問。演奏された曲は“笑点のテーマソング”“太陽にほえろ”“チンドン屋メドレー”“長崎は

今日も雨だった”“秋の童話メドレー”など曲のジャンルも多彩でした。途中、着物姿の可愛い女の子が太鼓を手に参加され、会場の雰囲気がとても良くなりました。歌詞のある曲は歌詞カードを手に利用者様も参加しての大合唱。みなさん笑顔が溢れとても楽しい空間が出来ていました。

編集者：田口 真一



令和4年10月3日発行

ふる里からの
「ふくろうだより」
10月号

今年の指針
“常に”

HP検索：[「サービスセンターふる里」](#)

あかるく やわらかく やさしく
社会福祉法人 福明会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 亀橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501

『“西九州新幹線 “かもめ” 営業開始 !!”』

9月23日金曜日、秋分の日祭日に『西九州新幹線』が開通営業開始されました。大村市でも開業まで様々な形でムードを高めるための催し事をしており、市民の心に浸透していったと思います。いよいよ開業当日、朝の新幹線を見ようと家内と2階の部屋から見ました。新大村駅始発の6時20分まで10分近くありましたが、その日の朝の空は、雲がかかった空でしたが、美しい朝焼けが雲と新幹線の線路との間に架かっていました。感動でした。6時21分「コーッ」という音がして、家内が、「新幹線の音♥」って言ったから新幹線“かもめ”がやってきました。わが家が駅に近いのでゆっくりで、これから加速する段階でしたのでじっくり見る事が出来ました。



長崎県の新幹線の話は、1985年昭和60年代に“武雄”“早岐”を通して“長崎”までのルートで新幹線の整備計画がされていました。佐世保市が原子力船“むつ”の修理を受け入れた事からによるものと聞いています。私のふるさと三川内が“新佐世保駅”になると聞いていたので、もろ手を上げて喜びました。結局は採算が取れないということで廃案になったようです。それ以来、現在の西九州新幹線の武雄嬉野を通るルートが決定されましたが、当初私は、「新幹線は必要ないのでは！」との気持ちでした。その後、着々と建設の計画が進んでいき、現在のルートが決まってからは、『大村も新幹線の効果があるような街づくりをしなければ！』という思いになりました。長崎Vファーレンの誘致、大学の誘致も話に上がったのですが、今のところ??のようです。人口も増加して活気づいている大村市なので、若者のための街づくりが急務と私自身思っています。高齢福祉に携わっている私にとって若者の笑顔と行動は、高齢者の喜びに直結していると思っています。西九州新幹線の開業で新大村駅周辺の開発は始まったばかりです。“コンパクトシティー構想”も考えられておりますので期待が持てそうです。私も、9月25日の日曜日に“新大村駅”を見学しました。駅の中に必ずある“kiosk(キオスク)”すらなかったのが残念でしたが、小さい子供さんがはしゃぐ姿、家族連れの見物客の笑顔がこれから先の新大村駅が市民の憩いの場所となるようでとても嬉しい一日でした。 センター長 森 隆敏



9月行事



9月行事は、『ふる里敬老感謝週間』で、“敬老の日”を祝う行事を行いました。今年は3年ぶりに外部から訪問者をお呼びしての行事となりました。今回来ていただいたのは『波佐見ベンチャーズ』様、『スマイリーピエロと愛の丞』様、『ミスターハッキー』様の3組の方々でした。1日目の『波佐見ベンチャーズ』様は4名で構成されてるバンドで歌謡曲や得意のベンチャーズ曲で、曲に合わせて利用者さんも歌って会場はとても盛り上がりしました。2日目は、『スマイリーピエロと愛の丞』様。ステージには風船の飾り付けで華やかできらびやかな会場になりました。1本の長い風船から“犬”や“花”などを作って利用者の皆さんにプレゼントされました。ショーの最後には、“南京玉すだれ”❤️これもまた華やかで、利用者さんはまた一段と盛り上がりしました。3日目は『ミスターハッキー』様。“月火水木金”の歌に合わせて登場され、モップを使ったダンスがとてもキレッキレでスタートからハッキー様の雰囲気飲み込まれました。利用者さんからも沢山の歓声と拍手が上がりました。後半はマジックをされ、紐を使ったものや、ティッシュをつかったマジック、火を使ったマジックなどがあり、特に最後の火を使ったマジックがインパクトが強く「おおお！」と声上がり大きな拍手が上がりました。3組の皆さん本当に有難うございました。帰りの会で、職員手作りの『歯ブラシ立て』の記念品と『紅白饅頭』と一緒に配布しました。記念品は、利用者さんの反応が良く嬉しそうにされていて、「作ってよかったー」と心から思いました。



今年の記念品

9月行事「敬老感謝週間」では、職員が一丸となって、利用者の皆様方をお祝いムードに浸らせ、私たちの“おもてなし”で一年間で一番最高の気分にしてあげたいとの気持ちで、計画し提供しました。おもてなしの一番は、記念品です。令和4年の「敬老の日」を元気に迎えられた事へのお祝いに今年は、陶器で作ったふくろうのデザイン入りの“歯ブラシ立て”を作りました。送る言葉『あなたの笑顔でみんなが幸せ』をセンター長に書いてもらいました。いかがでしょうか？素敵な記念品でしょう。

行事担当 明時 菜穂子、田口 真一



昼食の様子



毎年ふる里のお祝いの時に注文します“大村寿し”は JR 竹松駅前の『満州食堂』様からのものです。昔ながらの味を大事にされて、利用者の皆様に馴染みのものです。大きなまな板の上の“大村寿し”に、今年の言葉「常に」と「寿」を桜でんぶで描いて頂きました。皆様デザインに感動❤️、味に感動❤️でした。



言方問ボランティア

今回のおはなしの部屋は鐘ヶ江先生、浜口先生、西村先生の3人の方が来られました。始めに『だいちゃんとうみ』を朗読。内容はだいちゃんが夏休みに海に遊びに行くお話です。舞台は昭和初期の大村湾、知り合いのお兄さんと友達で3人で朝から小舟に乗って釣りに、お昼を作って食べたりと、作者が小さい頃の夏のお兄さんと友達のお話。山を越えた所で持ってきた食料を食べつくしてしまい、腹ペコで歩いていると大きなチーズが落ちています。ふたりは欲張りなため自分が切った大きい方をもらうためどちらが切るか喧嘩を始めます。そこにきつねのおばさんが現れ「私が分けてあげるよ」といいます。実はこのきつねはずる賢いきつねでした。最後は欲張るといい事がないとわかる内容になっています。最後は西村先生によるオカリナ演奏でした。曲は『小さい秋見つけた』『里の秋』『赤とんぼ』の3曲。秋にぴったりでしっとりしたメロディーに浸れました。利用者様も歌詞を口ずさんでられました。とても心地よいひと時でした。

